

日本の文化を世界に発信するための 国立京都国際会館の機能強化について

【担当省庁】 国土交通省

京都府・京都市共同提案

世界の人々へ日本の文化芸術の魅力を世界へ更に発信するためにも、国際会議場の国際標準である 5,000 名規模の多目的ホールへの一刻も早い拡張整備をお願いしたい。

【現状・課題等】

- 近年の国際会議の大規模化等により、十分なスペースが確保できず、京都での開催を希望されていても断念するケースが見受けられる。

| 開催年 | 国際会議名 | 要請スペース | 開催地 |
|----------|------------|--|---------|
| 平成 25 年度 | 国際小児科学会 | 5,000 人規模の会場スペース 12,000 m ² の展示場 | オーストラリア |
| 平成 25 年度 | 国際腎臓学会 | 3,000 人規模の会場スペース 10,000 m ² の展示場 | 香港 |
| 平成 26 年度 | 世界心臓学会 | 5,000 人規模の会場スペース 10,000 m ² の展示場 | オーストラリア |
| 平成 28 年度 | 国際心理学会 | 5,000 人規模の会場スペース | 横浜 |
| 平成 29 年度 | 国際眼科学会 | 5,000 人規模の会場スペース 5,000 m ² の展示場 | 東京 |
| 平成 30 年度 | 世界心臓学会議 | 5,000 人規模の会場スペース | ドバイ |
| 令和元年度 | 世界肺癌学会 | 5,000 人規模の会場スペース | トロント |
| 令和 2 年度 | 国際インプラント学会 | 5,000 人規模の会場スペース | シンガポール |

| | |
|-------------|---------------------------|
| 京都府 の担当課 | 知事直轄組織 国際課 (075-414-4313) |
|-------------|---------------------------|

■国立京都国際会館の概要

- (1) 所在地 京都市左京区岩倉大鷲町 422 番地 (敷地面積 156,000 m²)
 (2) 主な施設一覧

| 建築概要 | 構造等 | 竣工・開館年月 | 延床面積 |
|----------------------|------------------|---------------------|----------------------|
| 本館 | 地下1階, 地上6階, 塔屋2階 | 昭和41年5月 | 33,641m ² |
| | (増築: 地下1階, 地上3階) | | |
| イベントホール ロッジ (宿泊棟) | 地下1階, 地上3階 | 昭和60年4月 | 8,608m ² |
| | | 昭和61年5月 | |
| アネックスホール | 地下1階, 地上3階 | 平成10年3月 | 4,146m ² |
| ニューホール | 地下1階, 地上2階 | 平成30年6月 平成30年10月 | 4,527m ² |

■国内外の主要な国際会議場の状況

| 国名 | 会議場名 | 大会議場等収容数 |
|---------|-------------------|----------|
| 日本 | 国立京都国際会館 ニューホール | 2,500 名 |
| 日本 | 福岡国際センター・マリンメッセ | 6,000 名 |
| 日本 | 国立横浜会議場 (パシフィコ横浜) | 5,000 名 |
| 日本 | 東京国際フォーラム | 5,000 名 |
| アメリカ | ワシントン州立会議センター | 7,500 名 |
| イギリス | アールズコートアンドオリンピック | 22,000 名 |
| シンガポール | シンガポール国際会議・展示場 | 12,000 名 |
| 中国 | 香港会議・展示センター | 8,000 名 |
| 韓国 | コエックス会議・展示センター | 7,000 名 |
| オーストラリア | メルボルン国際会議場 | 5,500 名 |